

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

# 農 薬 抄 録

一般名 キノキサリン系 (キノメチオナート)

「殺菌剤」

(作成年月日)

平成 29 年 07 月 04 日 改訂

(作成会社名) アグロ カネショウ株式会社

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

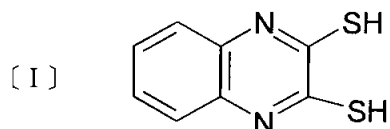
## 目 次

I. 開発の経緯	1
II. 物理的・化学的性状	3
III. 生物活性	13
IV. 適用及び使用上の注意	14
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	19
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	42
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	60
VIII. 毒性	毒 - 1
1. 原体	毒 - 7
1) 急性毒性	毒 - 7
2) 皮膚及び眼に対する刺激性	毒 - 14
3) 皮膚感作性	毒 - 17
4) 急性神経毒性	毒 - 20
5) 急性遅発性神経毒性	毒 - 21
6) 90日間反復経口投与毒性	毒 - 22
7) 21日間反復経皮投与毒性	毒 - 37
8) 90日間反復吸入毒性	毒 - 38
9) 反復経口投与神経毒性	毒 - 39
10) 28日間反復投与遅発性神経毒性	毒 - 46
11) 2年間反復経口毒性及び発がん性	毒 - 47
12) 繁殖毒性及び催奇形性	毒 - 78
13) 変異原性	毒 - 114
14) 生体機能影響	毒 - 123
2. 製剤	毒 - 128
3. 参考	毒 - 152
IX. 動植物及び土壌における代謝分解	代 - 1

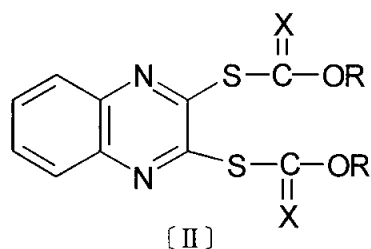
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

## I. 開発の経緯

キノキサリン系薬剤キノメチオナートは、1958年西独バイエル社においてDr. Sasseらによって初めて合成された。Sasseは、新しい殺菌・殺ダニ剤を研究するにあたり、多くの代謝過程で触媒的に働いている金属イオンを捕獲する化合物に注目し、2, 3-ジメルカプトキノキサリン〔I〕を研究対象の1つとした。

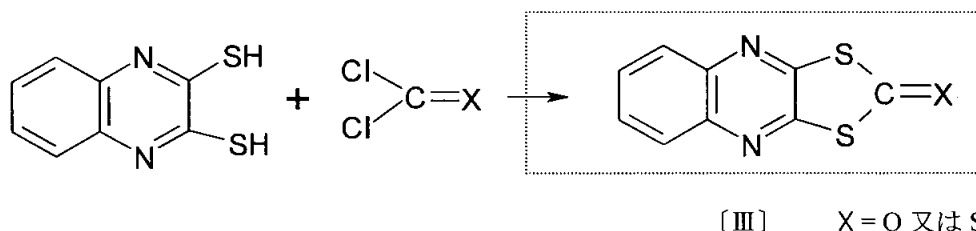


彼は、この化合物のメルカプト基に、有機又は無機酸の残基をつけると、非常に強い殺菌性及び殺ダニ性を有する事を見だし、特に〔I〕の炭酸誘導体が有効である事を確認した。そこで、クロル蟻酸エステル又はチオカルボン酸エステルクロライドを〔I〕に作用させ、次のような化合物〔II〕を多数合成して、生理活性試験に供した。



X=O, S

その後、〔I〕の2つのメルカプト基に、炭酸又はチオカルボン酸を結合し閉環した〔III〕の化合物が、一連の〔II〕の化合物よりさらに効力がある事を見出した。



この〔III〕の化合物群は、殺ダニ効力のみならず、うどんこ病防除活性にも優れているが、その中で6-メチルキノキサリン-2, 3-ジチオールカーボネート（キノメチオナート）が最も有望であることが判明した。

そこで、ヨーロッパ各地や、近東、極東、オーストラリア、アフリカ、北部及び南部アメリカ等の諸地域で、果樹、畑作物、蔬菜類、観賞用の作物のうどんこ病やダニ類を対象にして圃場試験が実施され、優れた防除効果が認められ、本剤は殺菌、殺ダニ剤として実

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

用化された。

我が国では、1959年に特許出願（昭34-22081）がなされ、1962年に25%水和剤（製剤4964）として導入された。初めは弊社農薬研究所において、各種のうどんこ病やダニ類に対する効果及び作物に対する薬害の有無が検討され、1963年より日本植物防疫協会を通じ広範な委託試験が実施された。

その結果、安全かつ高い殺菌、殺ダニ活性を示すことが確認され、1964年より、いちご、果菜類、果樹、花類等のうどんこ病やハダニ類防除薬剤としてモレストン(MORESTAN)の商品名で上市された。

現在における登録製剤としては、水和剤、混合剤がある。

我が国における評価状況としては、平成4年4月の残留農薬安全性評価委員会で評価された結果、ADIはラット2年間慢性毒性の無毒性量0.6mg/kg/日を安全係数100で除して0.006mg/kg/日と設定された。

諸外国における登録は無く、評価状況としては、1987年にJMPRで評価され、上記と同様にADIが0.006mg/kg/日と設定されている。急性参照用量（ARfD）については、設定されていない。

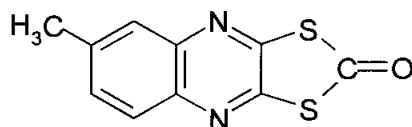
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

## II. 物理的・化学的性状

### 1. 有効成分の名称及び化学構造

- (1) 有効成分の一般名: キノキサリン系  
chinomethionat (ISO名)
- (2) 別名 商品名: モレストン (農薬名)  
試験名: BAYER 4963  
SAS 2074  
SS 2074  
BAY 36205
- (3) 化学名 MAFF名: 6-メチルキノキサリン-2,3-ジチオカーボネート  
6-methylquinoxaline-2,3-dithiocarbonate  
IUPAC名: *S,S*-(6-メチルキノキサリン-2,3-ジイル)ジチオカルボネート  
*S,S*-(6-methylquinoxaline-2,3-diyl)dithiocarbonate)  
CAS名: 6-メチル-1,3-ジチオロ [4,5-*b*]キノキサリン-2-オン  
6-methyl-1,3-dithiolo[4,5-*b*]quinoxalin-2-one

### (4) 構造式



- (5) 分子式  $C_{10}H_6N_2OS_2$   
(6) 分子量 234.29  
(7) CAS No. 2439-01-2

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

2. 有効成分の物理的・化学的性状

項目		測定値 (測定条件)	測定方法/試験機関	
色調		淡黄色	官能法/日本バ イエルグ ロム社	
形状		結晶	官能法/日本バ イエルグ ロム社	
臭気		無臭	官能法/日本バ イエルグ ロム社	
密度		1.556 g/cm <sup>3</sup> (22 °C)	空気比較比重計法/ ドイツバ イエル社/1987年	
融点		170.2 °C	示差熱分析法/ドイツバ イエル社/ 1990年	
沸点		熱分解により測定不能(340°C付近で分解)	省略理由書	
蒸気圧		2.6×10 <sup>-7</sup> hPa (20°C)	蒸気圧天秤法/ドイツバ イエル社/ 1987年	
溶解度	水	1.0 mg/L (20°C)	カラム溶出法/ドイツバ イエル社/1987年	
	溶媒	ヘキサン	0.944 g/L (20°C)	フラスコ振とう法/化学物質評価 研究機構/2000年 (GLP)
		トルエン	18.7 g/L (20°C)	
		ジクロロメタン	40.7 g/L (20°C)	
		アセトン	3.6 g/L (20°C)	
		メタノール	0.662 g/L (20°C)	
		酢酸エチル	5.11 g/L (20°C)	
解離定数 (pKa)		水溶液中で酸性も塩基性も示さない	滴定法/ドイツバ イエル社/1988年	
n-オクタノール/ 水分分配係数		Log Pow = 3.78 (20°C)	フラスコ振とう法/ドイツバ イエル社/ 1983年	
生物濃縮性		BCF <sub>ss</sub> 低濃度区 1993.3(親化合物 77.7) 高濃度区 2485.1(親化合物 96.9) BCF <sub>k</sub> 低濃度区 2252.8 高濃度区 2661.9	OECD305/KIT/2008年 (GLP)	
土壌吸着係数 (K <sub>oc</sub> '、K)		分解性高く、測定不能	OECD106/化学分析コンサルタント/ 2001年	
加水分解		t <sub>1/2</sub> : 7日 (25°C、pH5) t <sub>1/2</sub> : 2日 (25°C、pH7) t <sub>1/2</sub> : 2時間 (25°C、pH9)	EPA 161-1/アメリカモヘイ化学社/ 1983年	
水中光分解	滅菌 蒸留水	t <sub>1/2</sub> : 1.4時間 (UV フィルター付きキノンランプ、50.7W/m <sup>2</sup> 、300 ~400nm、25°C)	日本食品分析センター/2001年	
	自然水	t <sub>1/2</sub> : 64.6分 (UV フィルター付きキノンランプ、78W/m <sup>2</sup> 、 310~400nm、23°C)	日本バ イエルグ ロム社/2000年	
安定性	耐熱	340°C付近で分解	示差熱分析および熱重量分析法/ ドイツバ イエル社/1985年	
スペクトル		UV、IR、MS、NMR	ドイツバ イエル社/1985年	

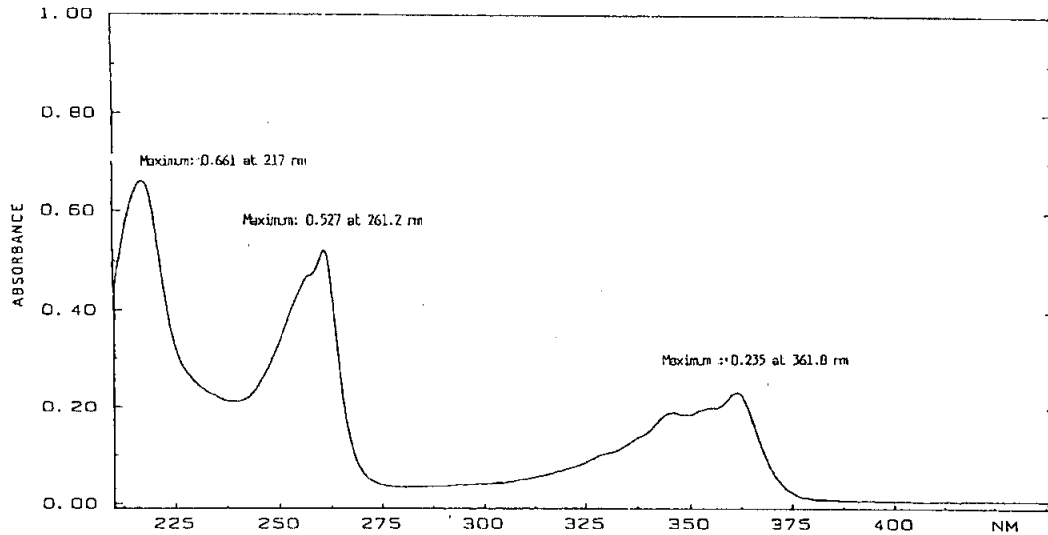
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

UV、IR、MS、NMRのスペクトル

(1) 紫外可視吸収スペクトル

QUINOMETHIONATE

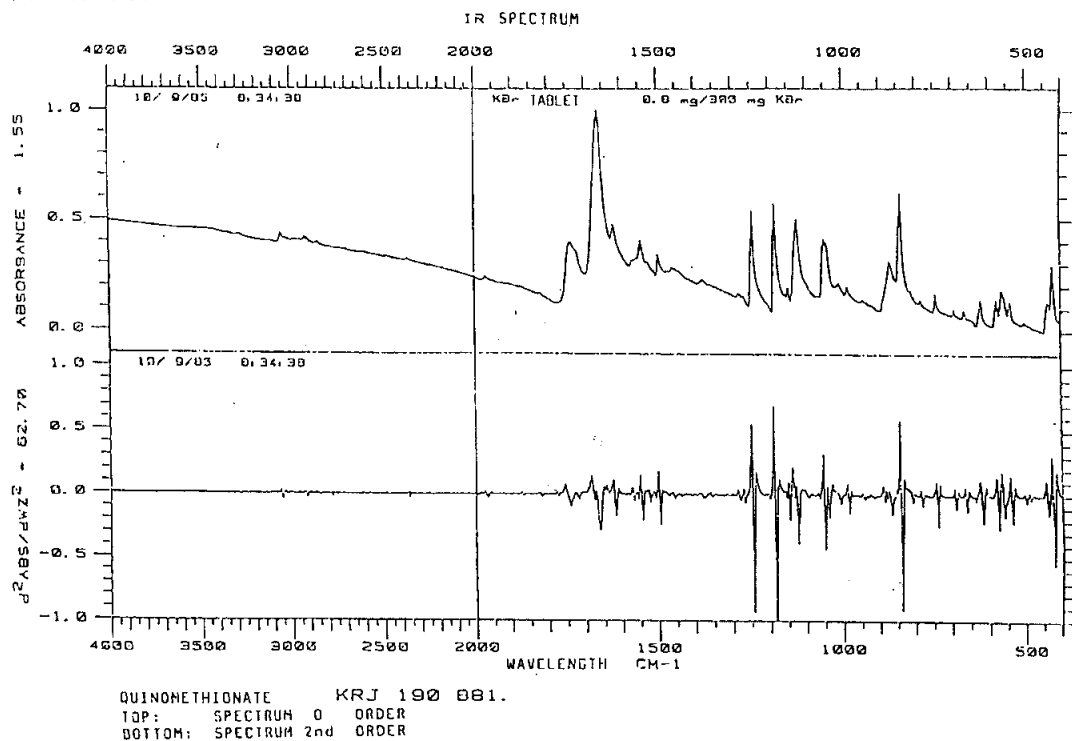
VELOCITY : 120 NM/MIN SOLVENT : METHANOL  
 SLIT : 1 NM CONCENTRATION: 3.39E-03 MG/ML  
 EXPANSION : 10 NM/CM DATE : 23. 10. 85  
 PATH-LENGTH : 1 CM




被検物質	キノキサリン系
純度	
日付	1985年10月23日
試験機関	バイエルモンハイム研究所
測定条件	
測定機器	分光光度計 554 (Perkin-Elmer)
溶媒	メタノール
濃度	$3.39 \times 10^{-3}$ mg/ml
セル形状 (光路長)	1 cm
走査速度	120 nm/min
測定結果	
最大吸収波長	217.0, 261.2, 361.8 nm
吸収率	193.96, 154.64, 68.96

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

(2) 赤外吸収スペクトル

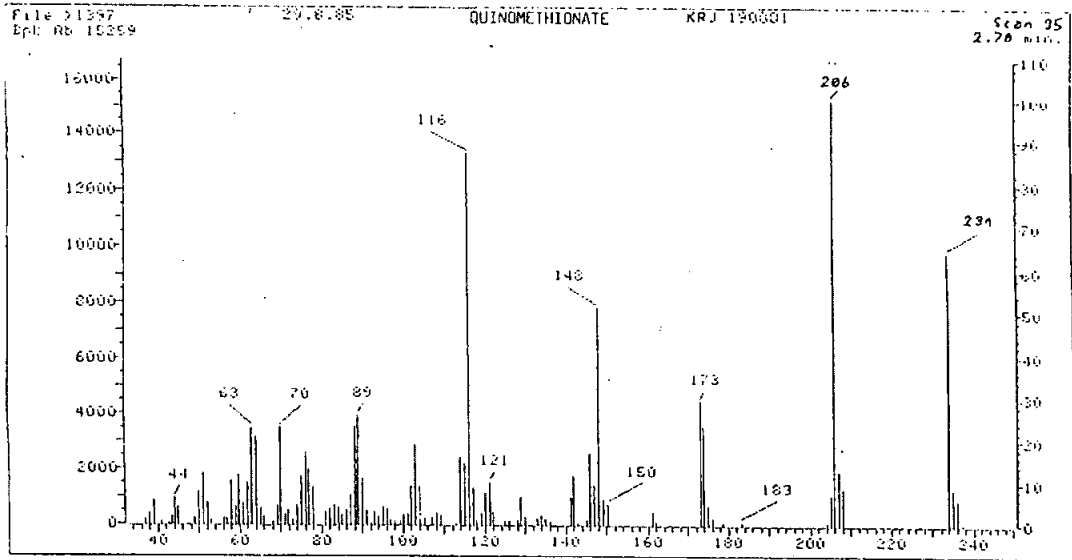


被検物質	キノキサリン系	
純度		
日付	1985年9月10日	
試験機関	バイエルモンハイム研究所	
測定条件		
測定法	KBr法	
濃度	0.8 mg×300mg KBr	
ピークの帰属	吸収波長 (cm <sup>-1</sup> )	吸収部位
	3054, 3029	CH-aromatic
	2920, 2855	CH-aliphatic
	1737, 1663	
	1619, 1544, 1496	-C=C-aromatic, -C=N-
	1244, 1185, 1147, 1123	-CH-ring

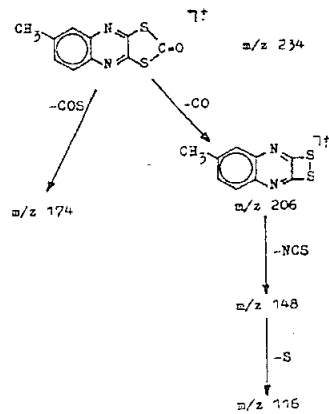


本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

(3) 質量スペクトル

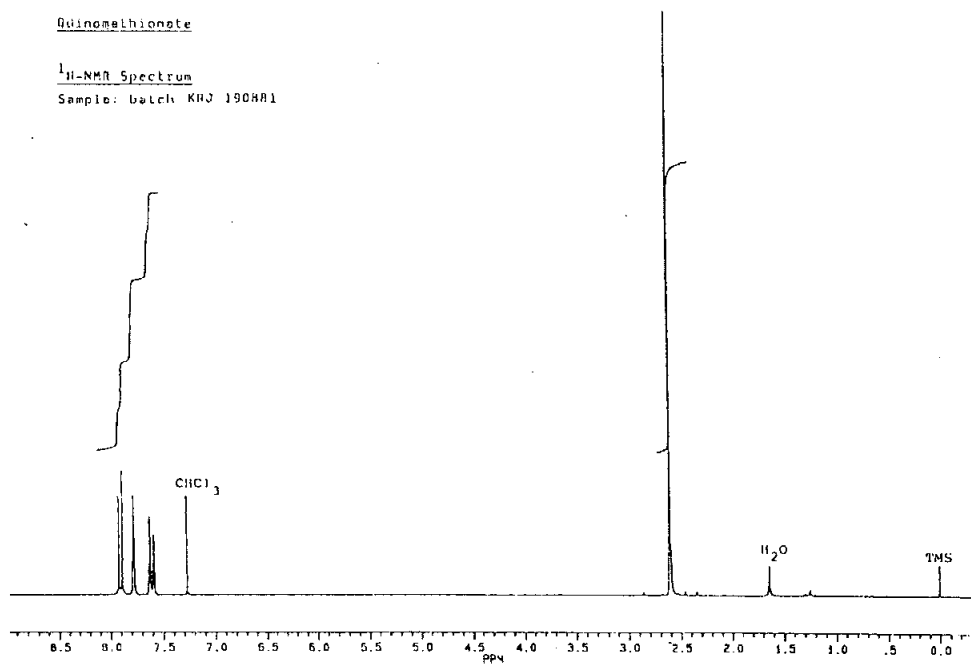


被検物質	キノキサリン系
純度	
日付	1985年8月29日
試験機関	バイエルモンハイム研究所
測定条件	
測定機器	HP 5987
導入法	直接導入法
イオン化法	電子衝撃法
イオン化電圧	70 eV
イオン源温度	200°C



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

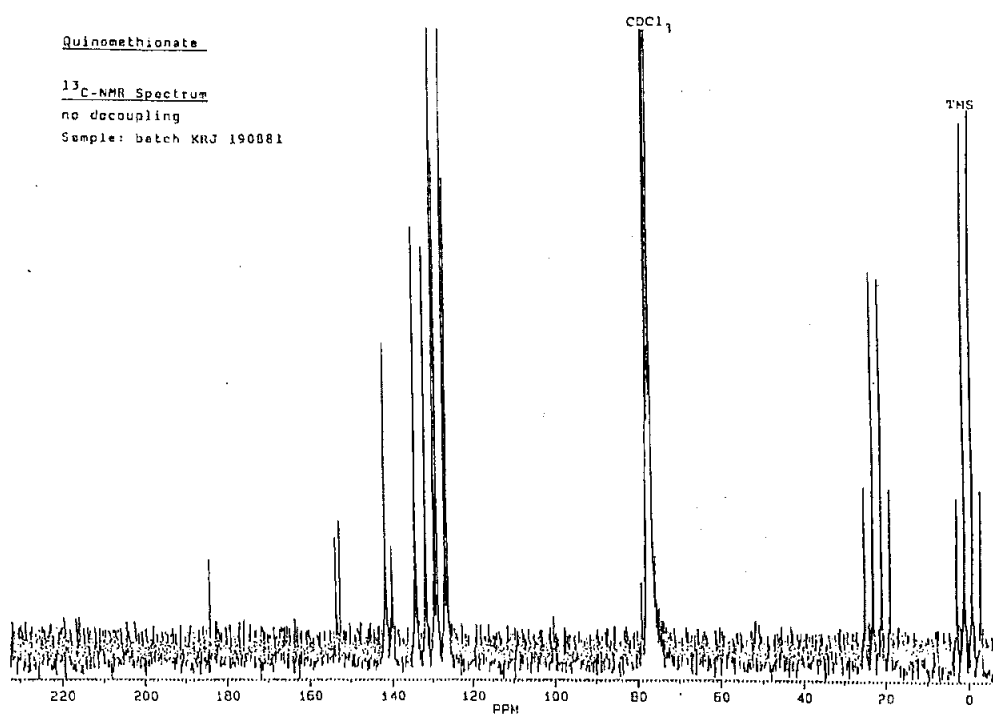
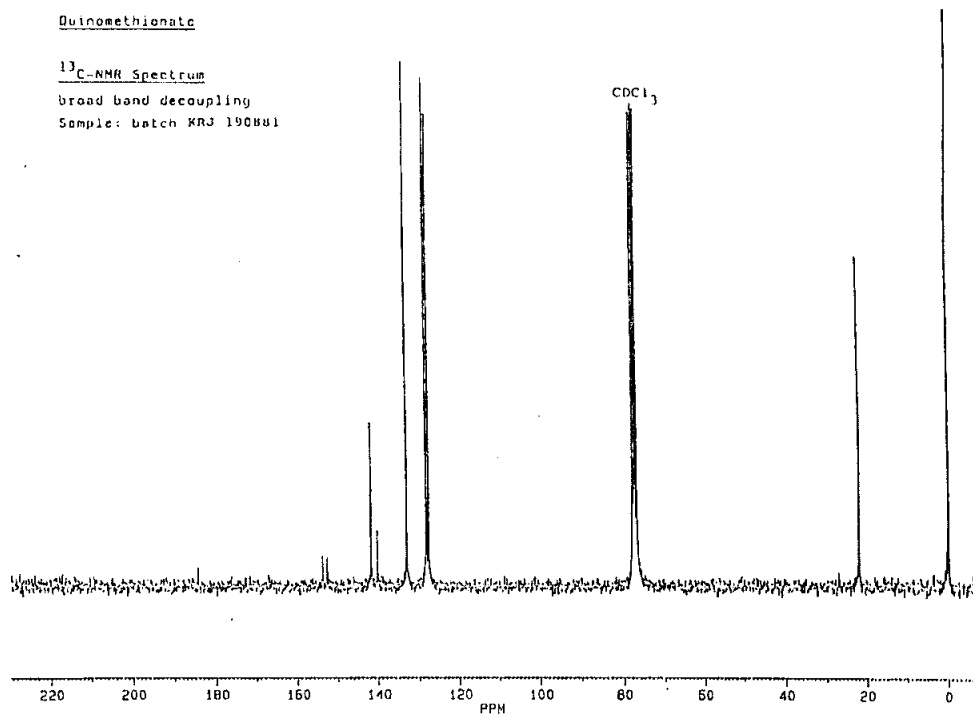
(4) 核磁気共鳴スペクトル ( $^1\text{H}$ )



被検物質	キノキサリン系			
純度				
試験機関	バイエルモンハイム研究所			
測定条件	測定機器 Bruker, model AM 250 周波数 250 MHz 溶媒 重クロロホルム 内部標準 テトラメチルシラン (TMS) 濃度 20 mg/ 0.6 ml			
ピークの帰属	H-atom	$\delta$ /ppm	Mult.	Rel. No. H
	1	2.60	S	3
	2	7.77	D	1
	3	7.89	D	1
	4	7.60	D, D	1

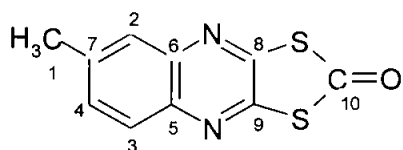
本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

(5) 核磁気共鳴スペクトル ( $^{13}\text{C}$ )



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

<sup>13</sup>C NMR スペクトルの帰属を  
以下構造式の炭素に番号で  
示した。



被検物質	キノキサリン系			
純度				
試験機関	バイエルモンハイム研究所			
測定条件				
測定機器	Bruker, model AM 250			
周波数	62.89 MHz			
溶媒	重クロロホルム			
内部標準	テトラメチルシラン (TMS)			
濃度	100 mg/ 2 ml			
ピークの帰属	C-atom	δ /ppm	mult.	rel. No. C
	1	21.88	Q	1
	2	127.34	D	1
	3	127.95	D	1
	4	132.75	D	1
	5	139.78	S	1
	6	141.38	S	1
	7	141.38	S	1
	8	152.32	S	1
	9	153.35	S	1
10	183.90	S	1	

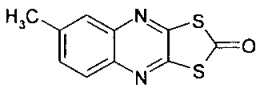
S : singlet

D: doublet

Q: quadruplet

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量 (%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又は レンジ
有効成分	キノキサート (chino- methionat)	6-メチルキノリン-2,3-ジ チオカーボネート		$C_{10}H_8N_2OS_2$	234.3		
混在物							

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

4. 製剤の組成

1) 25.0%水和剤

キノキサリン系	25.0%
鉍物質微粉、界面活性剤 等	75.0%

2) 12.5%水和剤

キノキサリン系	12.5%
MEP	25.0%
鉍物質微粉、界面活性剤 等	62.5%

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

### Ⅲ. 生物活性

キノキサリン系（キノメチオナート）の発見は、殺菌作用を有する 8-hydroxy quinolineや pyridine-N-oxide-2-thiol等が、生物体の多くの代謝過程で触媒的に働いている金属イオンを捕獲する事により活性を有するという点に着目し、同様な構造的性質を持つ化合物として 2,3-dimercapto quinoxalineを研究対象にした。

最初の試験で、この化合物のすぐれた殺ダニ力を発見し、生物試験を続けるうちに、有機リン剤や有機塩素剤に感受性のハダニや抵抗性を有するハダニにも同様に有効である事が判明した。

概してジチオカーボネートはトリチオカーボネートの類縁体より生物的に活性で、強い殺卵作用を有している事が特徴であった。ハダニの中毒症状の観察から、この薬剤の作用は従前の殺ダニ剤の作用機構とは異なる作用を有することが推定された。本剤は主としてハダニ類に有効であるが、副次的に菌類とくにウドンコ菌科にも有効である。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

#### IV. 適用及び使用上の注意事項

##### 1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

###### 【モレスタン水和剤（キノキサリン系25%水和剤）】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キノキサリン系を 含む農薬の 総使用回数	
きゅうり	うどんこ病	2000~4000倍	100~ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	コナジラミ類	2000倍			5回以内		5回以内	
トマト	コナジラミ類 トマトサビダニ	1500~2000倍		収穫3日前まで	10回以内		10回以内	
すいか	うどんこ病	2000~4000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内	
メロン								
まくわうり								
かぼちゃ	うどんこ病 チャノホコリダニ	2000~3000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内	
ピーマン								
なす	うどんこ病 チャノホコリダニ	2000倍		収穫10日前まで	2回以内		2回以内	
しそ	ハダニ類	3000倍						
にがうり	うどんこ病	2000倍	収穫前日まで	3回以内	3回以内			
オクラ	ハダニ類 うどんこ病	3000倍						
いちご	うどんこ病	3000~4000倍	200~ 700L/10a	収穫30日前まで	3回以内	3回以内		
かき		1500倍						
みかん	ハダニ類	1000~2000倍	収穫7日前まで	1回	1回			
	チャノホコリダニ ミカンサビダニ	1000倍						
かんきつ (みかんを除く)	ハダニ類	1000~2000倍	収穫28日前まで	1回	1回			
	チャノホコリダニ ミカンサビダニ	1000倍						
みょうが(花穂)	ハダニ類	3000倍	100~ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布、 但し花穂 の発生期 にはマル チフィルム 被覆に より散布 液が直接	3回以内	
みょうが(茎葉)				みょうが(花穂) の収穫前日まで 但し、花穂を収 穫しない場合 にあつては開花期 終了まで				散布
				はすいも(葉柄)				
食用さくら(葉)				うどんこ病				100~ 400L/10a



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使 用回数	使用方法	キノキサリン 系を含む農薬 の総使用回数
桑	ハダニ類	1000～2000倍	100～	発生初期	10回以内	散布	10回以内
	裏うどんこ病	2000倍	400L/10a	発病初期			
花き類・観葉植物 (カーネーションを除く)	うどんこ病	2000～3000倍	100～ 300L/10a				
				カーネーション			
樹木類 (こでまり、ポインセ チア、やなぎを除く)	うどんこ病	2000倍	100～ 700L/10a	発病初期			
ポインセチア	コナジラミ類	1000～2000倍	100～ 400L/10a	発生初期			
	うどんこ病	2000倍		発病初期			
やなぎ	ハダニ類	1000倍	100～ 700L/10a	発生初期			

作物名	適用場所	適用病害虫 名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	キノキサリン 系を含む農薬の総 使用回数
ピーマン	温室、ガラス室、 ビニールハウス 等 密閉できる場所	うどんこ病	20g/100m <sup>3</sup> (50m <sup>2</sup> ×2m)	—	収穫前日まで	3回以内	くん煙	3回以内
きゅうり			50～100g/10a					
メロン			100g/10a	5L/10a	収穫3日前まで	10回以 内	常温 煙霧	10回以内

【ジョンカラプロ (キノキサリン系 12.5%・ME P 25%水和剤)】

作物名	使用 目的	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	キノキサリン 系を含む農薬の総 使用回数	MEP を含む農薬の総 使用回数
りんご	摘葉	500～ 1500 倍	200～700L/10a	収穫30～50 日前	1回	散布	1回	3回以内

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【パルミノ（キノキサリン系 25%水和剤）】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	キノキサ リン系を 含む農薬 の総使用 回数
きゅうり	うどんこ病 コナジラミ類	2000 倍	150～ 300L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なす	うどんこ病 コナジラミ類 チャノホコリダ ニ						
トマト ミニトマト	うどんこ病 コナジラミ類						
ピーマン	うどんこ病 コナジラミ類 チャノホコリダ ニ						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

## 2. 使用上の注意事項

### 【モレスタン水和剤／パルミノ（キノキサリン系25%水和剤）】

- (1) 使用前によく振ってから使用すること。
- (2) 使用量に合わせ薬液を調製し使いきること。
- (3) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- (4) なすに使用する場合、定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないこと。
- (5) コナジラミ類防除に使用する場合、発生初期の卵の多い時期が散布適期となるので、時期を失わずに散布すること。
- (6) だいた、あずきにかかると葉に葉害を生じるおそれがあるので、かからないように注意すること。
- (7) ボルドー液等アルカリ性薬剤と混合すると分解が促進されるので混用はさけること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) 盛夏の高温時及び、施設内の高温時での使用は、葉害を生ずるおそれがあるので、所定範囲内での低濃度で使用すること。又、定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないこと。
- (10) みかんの盛夏高温時、いちごの収穫間近（果実が白味をおびる頃）での散布は、葉害を生ずるおそれがあるので使用はさけること。
- (11) オンシツコナジラミに対しては2令幼虫～成虫に対する効果は低いので発生初期の卵の多い時期に散布すること。
- (12) 本剤をはすいも（葉柄）に使用する場合、葉面の薬液溜まりの部分に褐変を生ずることがあるので注意すること。
- (13) くわに使用した場合は、5日以上経過してから蚕に給餌すること。
- (14) 樹木類に使用する場合、葉害を生ずるおそれがあるので、開花期及び新葉展開期の使用をさけること。
- (15) 本剤の連続使用は、ハダニ類の薬剤抵抗性の増加や薬剤耐性菌の出現等により効果が減ずるおそれがあるので、過度の連用をさけ、他の薬剤との輪番で使用すること。
- (16) ハウス等の常温煙霧又はくん煙用として使用する場合は特に次の事項に注意すること。
  - 9-1) 煙霧用として使用する場合は、専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
  - 9-2) くん煙用として使用する場合は、専用のくん煙器（蒸散器）により所定の方法でくん煙すること。
  - 9-3) 作業はできるだけ夕刻行ない、作業終了後煙霧の場合は6時間以上、くん煙の場合は12時間以上密閉しておくこと。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気して入室すること。
  - 9-4) 作業中及びハウスの密閉中は室内に入らないこと。やむを得ず入室する場合は防護マスク、長袖作業衣、手袋等を着用すること
- (17) ポインセチアに使用する場合、品種によって苞葉に葉害を生ずることがあるので、苞葉着色後の使用はさけること。
- (18) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【ジョンカラープロ（キノキサリン系 12.5%・MEP 25%水和剤）】

- (1) 本剤の所要量を水に希釈し、よくかきまぜて散布液を調製し、果そう葉を中心に散布すること。
- (2) 散布の際は汚れによる着色不良をさけるため展着剤を加用すること。
- (3) 本剤は使用するりんごの品種によって効果等に違いがあるため、以下の点に注意すること。
  - ① ふじなどの晩生種に使用する場合、散布前後で数日間気温の低い日が続くと効果が不十分となるおそれがあるため、晴天で温暖な時期を選び、所定範囲内の高濃度で散布すること。
  - ② つがるなどの早生種に使用する場合、散布前後で数日間気温の高い日が続くと過剰落葉となるおそれがあるため、極端な高温とならない時期を選び、所定範囲内の低濃度で散布すること。
- (4) 若木や徒長枝が多い樹などでは効果が不十分になることがある。
- (5) 過剰落葉となるおそれがあるため、重複散布はさけること。
- (6) 落葉が不十分な場合は、手摘み又は水散布などで補正葉摘みを行うこと。
- (7) 次のような条件では過剰落葉・葉害のおそれがあるので使用をさけること。
  - ① 樹勢の弱い樹。
  - ② 病害虫の著しい被害を受けた樹。
  - ③ 極端な高温時。
  - ④ ボルドー液を散布した後の樹。
- (8) 本剤散布に使用した器具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗浄し、他の用途に使用する場合、葉害の原因にならないように注意すること。
- (9) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (10) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。
- (11) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

3. 水産動植物に有害な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

## V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係

### 1. 作物残留

#### (1) 分析法の原理と操作概念

試料を酸性条件下でアセトン抽出した後、ヘキサンに転溶し、シリカゲルカラムクロマトグラフィーにより精製して高感度窒素・リン検出器(NPD)付きガスクロマトグラフを用いて定量する。

#### (2) 分析対象の化合物

名称	:	キノメチオナート
化学名	:	6-メチルキノキサリン-2,3-ジチオカーボネート
分子量	:	234.3
コード名	:	
代謝経路図中位置	:	[A]

#### (3) 残留試験結果

試験結果を次ページ以降の表に示した。

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

<キノメチオナート残留試験結果>

【トマト】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
トマト (施設) (果実) 昭和 60 年度	25%水和剤 1500 倍 2000/10a 散布	埼玉県 植 防 (瑞秀)	0	—	特殊農業(株)研究所			
			5	1			< 0.01	< 0.01
			5	3			0.03	0.03
			5	7			0.02	0.02
		長野県 農 試 (ファーストパワー)	0	—			< 0.01	< 0.01
			5	1			0.08	0.08
			5	3			0.15	0.14
			5	7			0.09	0.08
			7	1			0.14	0.14
			7	3			0.09	0.09
			7	7			0.13	0.12
トマト (施設) (果実) 平成 21 年度 平成 22 年度	25%水和剤 1500 倍 300 0 /10a	群馬県 植防協 (麗夏)	0	—	(財)残留農業研究所		アグロ カネショウ(株)	
			5	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	0.13	0.12	0.14	0.14
			5	7	0.14	0.14	0.17	0.16
		長野県 植 防 南 信 (桃太郎 ファイ ト)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	0.11	0.11	0.19	0.18
			5	3	0.15	0.15	0.13	0.12
			5	7	0.10	0.10	0.12	0.12

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【ミニトマト】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
ミニトマト (施設) (果実) 平成 24 年度	25%水和剤 2000 倍 222L/10a 散布	岩手植 (キャロ ル 10)	0	—	(財)残留農業研究所			
			5	1	<0.01	<0.01		
			5	3	0.93	0.92		
			5	7	0.45	0.44		
	25%水和剤 2000 倍 200~250L/10a 散布	群馬植 (サンチ ェリーピ ュア)	0	—	<0.01	<0.01		
			5	1	0.48	0.48		
			5	3	0.26	0.25		
			5	7	0.31	0.30		
ミニトマト (施設) (果実) 平成 26 年度	25%水和剤 2000 倍 300L/10a 散布	福島植 郡 山 (千果)	0	—	(株)化学分析コンサルタント			
			5	1	<0.01	<0.01		
	25%水和剤 2000 倍 272~276L/10a 散布	日植防 茨 城 (ペペ)	0	—	<0.01	<0.01		
			5	1	0.50	0.50		
ミニトマト (施設) (果実) 平成 27 年度	25%水和剤 2000 倍 281L/10a 散布	日植防 茨 城 (ペペ)	0	—	(株)化学分析コンサルタント			
			5	1	<0.01	<0.01		
	25%水和剤 2000 倍 259L/10a 散布	日植防 高 知 (キャロ ル 7)	0	—	<0.01	<0.01		
			5	1	1.20	1.18		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

【ピーマン】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数		経過 日数	分析結果 (ppm)			
						キノメチオナート [A]			
						最高値	平均値	最高値	平均値
ピーマン (果実) (施設) 昭和 48 年度 昭和 49 年度	① 25%水和剤 2000 倍 250L/10a 散布	奈良県 農 試 (京みど り)	①	0	—	日本分析化学研究所		特殊農薬(株)研究所	
				1	1	< 0.02	< 0.02	< 0.005	< 0.005
				2	1	0.06	0.06	0.056	0.056
				3	1	< 0.02	< 0.02	0.084	0.084
				3	1	0.21	0.20	0.188	0.184
			3	3	0.14	0.14	0.127	0.122	
			3	7	0.08	0.08	0.071	0.068	
			②	0	—	< 0.02	< 0.02	< 0.005	< 0.005
				1	1	0.23	0.21	0.248	0.237
				2	1	0.07	0.06	0.063	0.061
	3	1		0.13	0.13	0.112	0.107		
	3	3		0.05	0.04	0.027	0.025		
	② 47.5%蒸散剤 0.126g/m <sup>2</sup> 蒸散 <sup>*)</sup>	兵庫県 農 試 (さきが けみど り)	①	0	—	< 0.02	< 0.02	0.006	0.006
				1	1	0.07	0.07	0.220	0.210
				2	1	0.14	0.12	0.207	0.203
				3	1	0.20	0.20	0.433	0.410
				3	3	0.19	0.18	0.242	0.232
			3	7	0.13	0.12	0.206	0.194	
			②	0	—	< 0.02	< 0.02	0.007	0.006
				1	1	< 0.02	< 0.02	0.060	0.052
2				1	0.02	0.02	0.025	0.025	
3				1	< 0.02	< 0.02	0.026	0.024	
3	3	< 0.02		< 0.02	0.014	0.012			
3	7	< 0.06	< 0.02	0.010	0.010				
ピーマン (施設) (果実) 平成 24 年度	25%水和剤 2000 倍 222L/10a 散布	岩手植 (京ひか り)			(財)残留農薬研究所				
			0	—	< 0.01	< 0.01			
			3	1	0.81	0.80			
			3	3	0.46	0.46			
	25%水和剤 2000 倍 278L/10a 散布	日植防 高 知 (トサヒ メ R)	0	—	< 0.01	< 0.01			
			3	1	1.50	1.48			
			3	3	1.38	1.36			
			3	7	0.84	0.84			
ピーマン (施設) (果実) 平成 26 年度	25%水和剤 2000 倍 208L/10a 散布	鹿児島植 (京みど り)			(株)化学分析コンサルタント				
			0	—	< 0.01	< 0.01			
3	1	0.08	0.08						

<sup>\*)</sup>くん煙処理



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【なす】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数		経過 日数	分析結果(ppm)			
						キノメチオナート [A]			
						最高値	平均値	最高値	平均値
なす (施設) (果実) 昭和60年度	25%水和剤 ① 33倍 5ℓ/10a 常温煙霧 ② 2000倍 300ℓ/10a 散布	愛媛県 農試 (松山長)	①	0	—	愛媛県農試			
				3	1	<0.007	<0.007		
				3	3	0.080	0.076		
			②	0	—	<0.007	<0.007		
				3	1	0.221	0.218		
				3	3	0.112	0.108		
なす (施設) (果実) 昭和61年度	25%水和剤 ① 33倍 5ℓ/10a 常温煙霧 ② 2000倍 300ℓ/10a 散布	高知県 農技研 (はやぶ さ)	①	0	—	高知県農技研			
				3	1	<0.05	<0.05		
				3	3	0.12	0.12		
			②	3	1	0.20	0.18		
				3	3	0.11	0.10		
なす (施設) (果実) 平成19年度	25%水和剤 2000倍 300ℓ/10a	日植防研 牛久 (千両2 号)	0	—	(株)化学分析コンサルタント				
			3	1			<0.05	<0.05	
			3	3			0.09	0.09	
			3	7			0.07	0.07	
		群馬県 植防協 (式部)	0	—			<0.05	<0.05	
			3	1			<0.05	<0.05	
			3	3			<0.05	<0.05	
			3	7			<0.05	<0.05	
		長野県 植防 松代 (千両2 号)	0	—			<0.05	<0.05	
			3	1			<0.05	<0.05	
			3	3			<0.05	<0.05	
			3	7			<0.05	<0.05	
なす (施設) (果実) 平成21年度 平成22年度	25%水和剤 2000倍 300~279ℓ/10a 散布	群馬県 植防協 (式部)	0	—	(財)残留農薬研究所				
			3	1			アグロカネショウ (株)		
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	7	0.35	0.34	0.30	0.30	
		日植防研 宮崎 (黒陽)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
			3	1	0.29	0.28	0.25	0.24	
			3	3	0.21	0.21	0.17	0.16	
			3	7	0.05	0.05	0.04	0.04	
なす (施設) (果実) 平成24年度 (GLP)	25%水和剤 2000倍 228~300ℓ /10a	群馬植 (式部)	0	—	(財)残留農薬研究所				
			3	1	<0.01	<0.01			
			3	3	0.19	0.19			
			3	7	0.06	0.06			
		長野植 松代 (千両2 号)	0	—	<0.01	<0.01			
			3	1	0.07	0.07			
			3	3	0.04	0.04			
			3	7	<0.01	<0.01			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

【きゅうり】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
きゅうり (施設) (果実) 昭和 46 年度	25%水和剤 2000 倍 35~3500/10a 散布	石川県 農 試 (四葉)	0 5 5 5 10 10 10	— 1 5 10 1 5 10	特殊農薬(株)研究所			
							< 0.02	< 0.02
							0.05	0.05
							< 0.02	< 0.02
							< 0.02	< 0.02
							0.07	0.07
							< 0.02	< 0.02
		高知県 農技研 (久留米 H)	0 5 5 5 10 10 10	— 1 5 10 1 5 10	特殊農薬(株)研究所			
							< 0.02	< 0.02
							0.07	0.07
							0.04	0.04
							< 0.02	< 0.02
							0.10	0.10
							0.03	0.03
きゅうり (施設) (果実) 昭和 48 年度	① : 25%水和剤 2000 倍 150~3000/10a 散布	静岡県 農 試 遠州分場 (久留米 落合 H)	① 0 1 2 3 3 3	— 1 1 1 1 3 7	特殊農薬(株)研究所			
							< 0.005	< 0.005
							0.067	0.063
							0.049	0.046
							0.068	0.064
							0.041	0.036
							0.016	0.015
		高知県 農技研 (久留米 H)	② 0 1 2 3 3 3	— 1 1 1 3 3 7	特殊農薬(株)研究所			
							< 0.005	< 0.005
							0.052	0.050
							0.012	0.012
							0.007	0.007
							0.007	0.006
							< 0.005	< 0.005
	② : 50%くん煙剤 0.1~0.22g/m <sup>3</sup> くん煙	① 0 1 2 3 3 3	— 1 1 1 3 3 7	特殊農薬(株)研究所				
						< 0.005	< 0.005	
						0.018	0.017	
						0.030	0.026	
						0.028	0.028	
						0.014	0.012	
						0.012	0.011	
高知県 農技研 (久留米 H)	② 0 1 2 3 3 3	— 1 1 1 3 3 7	特殊農薬(株)研究所					
					< 0.005	< 0.005		
					< 0.005	< 0.005		
					< 0.005	< 0.005		
					< 0.005	< 0.005		
					< 0.005	< 0.005		
					< 0.005	< 0.005		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【きゅうり (つづき)】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					キノメチオナート [A]				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
きゅうり (施設) (果実) 昭和 49 年度	30%くん煙剤 0.65~1.1g/m <sup>3</sup> くん煙	大阪府 農技 センタ ー (金剛ブ ルエー ス)	0	-	(財)日本食品分析センター		特殊農薬(株)研究所		
			1	1	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			1	3	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			1	7	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			3	1	<0.01	<0.01	0.005	0.005	
			3	3	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
		3	7	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005		
		徳島県 農 試 (F1 新光 節成 12 号)	0	-	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			1	1	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			1	3	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			1	7	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005	
			3	1	<0.01	<0.01	0.009	0.008	
			3	3	<0.01	<0.01	0.007	0.006	
3	7		<0.01	<0.01	<0.005	<0.005			
きゅうり (施設) (果実) 昭和 54 年度	10%粉剤 500g/10a 散布	日植防 研 (夏秋節 成 2 号)	0	-	(財)残留農薬研究所		特殊農薬(株)研究所		
			5	1	<0.004	<0.004	<0.01	<0.01	
			5	3	0.046	0.044	0.02	0.02	
			9	1	0.006	0.006	<0.01	<0.01	
			9	3	0.084	0.084	0.03	0.03	
		熊本県 農 試 (山東四 葉)	0	-	<0.004	<0.004	<0.01	<0.01	
			5	1	0.021	0.021	0.01	0.01	
			5	1	0.016	0.016	0.02	0.02	
			5	3	0.019	0.019	0.03	0.03	
			9	1	0.028	0.027	0.03	0.03	
9	3	0.016	0.016	0.02	0.02				
きゅうり (施設) (果実) 昭和 55 年度	25%水和剤 ①50 倍 50/10a 常温煙霧 ②2000 倍 2000/10a 散布	埼玉県 園 試 (夏秋節 成 2 号)	①	0	-	埼玉県園試		特殊農薬(株)研究所	
				4	7	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
				5	0	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
				5	1	0.11	0.10	0.18	0.18
				5	3	0.03	0.03	0.02	0.02
				5	5	0.02	0.02	<0.01	<0.01
			②	5	5	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
				5	7	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
				4	7	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01
				5	0	0.24	0.22	0.12	0.12
				5	1	0.11	0.10	0.08	0.07
				5	3	0.15	0.15	0.09	0.08
				5	5	0.04	0.04	0.04	0.04
5	7	0.02	0.02	0.02	0.02				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

【きゅうり (つづき)】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数		経過 日数	分析結果 (ppm)			
						キノメチオナート [A]			
						最高値	平均値	最高値	平均値
きゅうり (施設) (果実) 昭和 57 年度	25%水和剤 ①50 倍 50/10a 常温煙霧	宮崎県 総農試 (女神 2 号)	①	0	—	宮崎県総農試		特殊農薬(株)研究所	
				5	1	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
				5	3	0.05	0.05	0.02	0.02
				5	7	0.03	0.03	< 0.01	< 0.01
	②2000 倍 2000/10a 散布		②	5	1	0.03	0.02	< 0.01	< 0.01
				5	3	0.28	0.28	0.14	0.14
				5	3	0.15	0.14	0.03	0.03
				5	7	0.06	0.06	0.01	0.01
きゅうり (施設) (果実) 平成 24 年度 (GLP)	25%水和剤 2000 倍 236~2850/10a 散布	群馬植 (百成特 号)		0	—	(財)残留農薬研究所			
				3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	0.20	0.20		
				3	7	0.12	0.12		
		和歌山植 (夏すず み)		0	—	< 0.01	< 0.01		
				3	1	0.03	0.03		
				3	3	0.07	0.07		
				3	3	0.02	0.02		
3	7	< 0.01	< 0.01						

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【かぼちゃ】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
かぼちゃ (露地) (果実) 昭和 55 年度	3%粉剤 6kg/10a 散布	宮崎県 総農試 (宮崎早生 1号)	0	—	(財)残留農薬研究所		日本特殊農薬製造(株)	
			3	3	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	7	0.325	0.320	0.01	0.01
		高知大 農学部 (えびす)	0	—	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01
			3	3	0.013	0.012	0.24	0.24
			3	7	0.005	0.005	0.14	0.14
かぼちゃ (露地) (果実) 昭和 63 年度	25%水和剤 2000 倍 2000/10a 散布	日植防 高知 (えびす)	0	—	(財)日本食品分析センター		日本特殊農薬製造(株)	
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		日植防 宮崎 (えびす)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
かぼちゃ (露地) (果実) 平成 4 年度	3%粉剤 6kg/10a 散布	岩手県 園試南部 分場 (えびす)	0	—	(株)化学分析コンサルタント			
			3	7			<0.01	<0.01
			3	14			0.01	0.01
		茨城県 農総セ 農業研 (みやこ)	0	—			<0.01	<0.01
			3	7			0.06	0.06
			3	14			0.03	0.03

【すいか】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
すいか (施設) (果肉) 昭和 63 年度	25%水和剤 2000 倍 2000 散布	日植防研 (こだま)	0	—	(財)日本食品分析センター		特殊農薬(株)研究所	
			5	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		静岡県 農試 (富士光)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			5	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

【メロン】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数		経過 日数	分析結果 (ppm)			
						キノメチオナート [A]			
						最高値	平均値	最高値	平均値
メロン (施設) (果肉) 昭和 61 年度	25%水和剤 ① : 50 倍 50/10a 常温煙霧  ② : 2000 倍 2000/10a 散布	静岡県 農 試 (東海ア ルス PF70)	①	0	—	< 0.01	< 0.01		
				3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	7	< 0.01	< 0.01		
			②	3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	7	< 0.01	< 0.01		
		静岡県 磐田市 (冬 F1 - 3 号)	①	0	—	< 0.01	< 0.01		
				3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	7	< 0.01	< 0.01		
			②	3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	7	< 0.01	< 0.01		
		静岡県 浜北市 (冬 F1 - 3 号)	①	0	—	< 0.01	< 0.01		
				3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	7	< 0.01	< 0.01		
			②	3	1	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	3	< 0.01	< 0.01		
				3	7	< 0.01	< 0.01		
茨城県 農 試 (アンデ ス)	①	0	—	< 0.01	< 0.01				
		3	1	< 0.01	< 0.01				
		3	3	< 0.01	< 0.01				
		3	7	< 0.01	< 0.01				
	②	0	—	< 0.01	< 0.01				
		3	1	< 0.01	< 0.01				
		3	3	< 0.01	< 0.01				
		3	7	< 0.01	< 0.01				
大分県 農 試 (アムス)	①	4	1	< 0.03	< 0.03				
		4	3	< 0.03	< 0.03				
		4	7	< 0.03	< 0.03				
		4	1	< 0.03	< 0.03				
	②	4	3	< 0.03	< 0.03				
		4	3	< 0.03	< 0.03				
		4	7	< 0.03	< 0.03				
		4	7	< 0.03	< 0.03				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【メロン (つづき)】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
メロン (施設) (果肉) 昭和 51 年度	25%水和剤 2000 倍 200~500ℓ 散布	千葉県 農 試 (プリンス メロン)	0	—	(財)残留農薬研究所		特殊農薬(株)研究所	
			4	1	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			4	3	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			8	1	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			8	3	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
		愛知県 農総試 (プリンス メロン)	0	—	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			5	1	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			5	3	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			10	1	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
			10	3	< 0.005	< 0.005	< 0.01	< 0.01
メロン (施設) (果肉) 昭和 54 年度	3%粉剤 6kg/10a 散布	茨城県 鯉淵学園 (プリンス メロン)	0	—	(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
			5	1	<0.004	<0.004	<0.01	<0.01
			5	3	0.015	0.014	0.01	0.01
			10	1	0.006	0.006	<0.01	<0.01
		10	3	0.006	0.006	<0.01	<0.01	
		千葉県 (プリンス メロン)	0	—	<0.004	<0.004	<0.01	<0.01
			5	1	0.046	0.043	<0.01	<0.01
			5	3	0.016	0.015	0.02	0.02
			10	1	0.039	0.038	<0.01	<0.01
			10	3	0.022	0.022	<0.01	<0.01
静岡県 農 試 (プリンス メロン)	0		—	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	
	6	1	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01		
	6	3	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01		
	茨城県 鯉淵学園 (プリンス メロン)	0	—	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	
		6	1	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	
		6	3	<0.005	<0.005	<0.01	<0.01	

【まくわうり】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
まくわうり (露地) (果実) 平成 19 年度	25%水和剤 2000 倍 30~300ℓ/10a 散布	日植防研 高 知 (金太郎)	0	—	化学分析コンサルタント			
			10	3			< 0.01	< 0.01
			10	7			< 0.01	< 0.01
			10	14			< 0.01	< 0.01
		日植防研 宮 崎 (金太郎)	0	—			< 0.01	< 0.01
			10	3			< 0.01	< 0.01
			10	7			< 0.01	< 0.01
			10	14			< 0.01	< 0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

【にがうり】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					キノメチオナート [A]				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
にがうり (露地) (果実) 昭和 61 年度	25%水和剤 2000 倍 2000/10a 散布	沖縄県糸 満市 (在来種)	0	—	沖縄県農試				
			4	1	< 0.004	< 0.004			
			4	3	0.180	0.180			
			4	3	0.033	0.033			
			4	5	0.017	0.017			
			8	1	0.273	0.273			
			8	3	0.028	0.028			
			8	5	0.012	0.012			
			10	1	0.421	0.421			
			10	3	0.053	0.053			
		10	5	0.066	0.066				
				0	—	< 0.004	< 0.004		
				4	1	0.186	0.182		
				4	3	0.055	0.052		
				4	5	0.020	0.020		
				10	1	0.325	0.325		
				10	3	0.177	0.158		
				12	1	0.185	0.174		
				12	3	0.099	0.096		
				12	5	0.065	0.065		



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【オクラ】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
オクラ (露地) (可食部) 平成元年度	25%水和剤 3000倍 2000/10a 散布	鹿児島県 農試 (アーリー ファイブ)	0 1 1 1 3 3 3 5 5 5	— 1 3 7 1 3 7 1 3 7	鹿児島県農試			
					< 0.02	< 0.02		
					0.22	0.22		
					0.17	0.16		
					0.10	0.10		
					0.18	0.17		
					0.14	0.14		
					0.12	0.12		
					0.40	0.40		
					0.12	0.12		
0.10	0.10							
オクラ (露地) (可食部) 昭和63年度	25%水和剤 3000倍 2000/10a 散布	宮崎県 宮崎郡 佐土原町 (アーリー ファイブ)	0 1 1 1 3 3 3 5 5 5	— 1 3 7 1 3 7 1 3 7	宮崎県農試			
					< 0.005	< 0.005		
					0.125	0.118		
					0.021	0.020		
					< 0.005	< 0.005		
					0.090	0.085		
					0.023	0.020		
					< 0.005	< 0.005		
					0.096	0.086		
					0.019	0.018		
0.006	0.006							

【さやえんどう】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)				
					キノメチオナート [A]				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
さやえんどう (施設) (さや) 平成元年度	25%水和剤 2000倍 200~2500/10a 散布	和歌山県 植防 (オランダ)	0 3 3	— 1 3	(財)日本食品分析センター		特殊農薬(株)研究所		
					< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	
					0.22	0.21	0.17	0.16	
		0.12	0.12	0.14	0.14				
		鹿児島県 農試 (ニムラ白 花きぬさ や)	0 3	— 3	— 3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
						0.27	0.26	0.24	0.24
						0.19	0.19		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【その他の野菜】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数		経過 日数	分析結果 (ppm)			
						キノメチオナート [A]			
						最高値	平均値	最高値	平均値
食用さくら (露地) (葉) 平成 17 年度	25%水和剤 3000 倍 3000/10a 散布	静岡県 農試 (松崎)	0	—		(株)エコプロ・リサーチ			
			3	7		< 0.05	< 0.05		
			3	14		0.99	0.96		
			3	21		0.09	0.09		
		静岡県 農試 (南伊豆)	0	—		< 0.05	< 0.05		
			3	7		1.36	1.34		
			3	14		0.23	0.23		
			3	21		0.20	0.20		
はすいも (施設) (葉柄) 平成 16 年度	25% 水和剤 3000 倍 ①2000/10a ②3000/10a 散布	高知県 須崎市 (在来種)	①	0	—	高知県農技セ			
				3	1	< 0.04	< 0.04		
				3	3	0.04	0.04		
				3	3	< 0.04	< 0.04		
				3	7	0.04	0.04		
				高知県 南国市 (在来種)	②	0	—	< 0.04	< 0.04
						3	1	< 0.04	< 0.04
		3	3			< 0.04	< 0.04		
				3	7	< 0.04	< 0.04		

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【温州みかん】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
温州みかん (果肉) 昭和 46 年度	25%水和剤 1000 倍 350~500ℓ/10a 散布	大阪柑橘 母樹園 (石川普通 温州)	0	—	特殊農薬(株)研究所			
			1	149			< 0.02	< 0.02
			1	160			< 0.02	< 0.02
			3	35			< 0.02	< 0.02
			3	46			< 0.02	< 0.02
		大分県 津久見 柑橘試 (青江早生 温州)	0	—			< 0.02	< 0.02
			1	80			< 0.02	< 0.02
			1	89			< 0.02	< 0.02
			3	7			< 0.02	< 0.02
			3	16			< 0.02	< 0.02
温州みかん (果皮) 昭和 46 年度	25%水和剤 1000 倍 350~500ℓ/10a 散布	大阪柑橘 母樹園 (石川普通 温州)	0	—			< 0.04	< 0.04
			1	149			< 0.04	< 0.04
			1	160			< 0.04	< 0.04
			3	35			0.10	0.09
			3	46			< 0.04	< 0.04
		大分県 津久見 柑橘試 (青江早生 温州)	0	—			< 0.04	< 0.04
			1	80			< 0.04	< 0.04
			1	89			< 0.04	< 0.04
			3	7			0.04	0.04
			3	16			< 0.04	< 0.04
温州みかん (露地) (果肉) 昭和 61 年度	25%水和剤 1000 倍 400~500ℓ 散布	神奈川県 園 試 根付川 (興津早生)	0	—	特殊農薬(株)研究所			
			3	7			< 0.01	< 0.01
			3	14			< 0.01	< 0.01
		愛媛県 果 試 (興津早生)	0	—			< 0.01	< 0.01
			3	7			< 0.01	< 0.01
			3	14			< 0.01	< 0.01
温州みかん (露地) (果皮) 昭和 61 年度	25%水和剤 1000 倍 400~500ℓ 散布	神奈川県 園 試 根付川 (興津早生)	0	—			< 0.02	< 0.02
			3	7			2.39	2.38
			3	14			2.46	2.40
		愛媛県 果 試 (興津早生)	0	—			< 0.02	< 0.02
			3	7			1.98	1.96
			3	14			1.32	1.32
温州みかん (施設) (果肉) 平成 3 年度	10%くん煙剤 40g/100m <sup>3</sup> くん煙	愛知県 農総試 (宮川早 生)	0	—	(財)残留農薬研究所			
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		大分県 柑橘試 (興津早 生)	0	—	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	30	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			3	45	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【温州みかん (つづき)】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)					
					キノメチオナート [A]					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
温州みかん (施設) (果皮) 平成 3 年度	10%くん煙剤 40g/100m <sup>3</sup> くん煙	愛知県 農総試 (宮川早 生)	0	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02		
			3	30	0.03	0.03	0.03	0.03		
			3	45	0.02	0.02	<0.02	<0.02		
		大分県 柑橘試 (興津早 生)	0	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	30	0.02	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	45	0.02	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
温州みかん (露地) (果肉) 平成 15 年度	25%水和剤 1000 倍 500L/10a 散布 25%水和剤 1000 倍 1000L/10a 散布	日植防研 高知県 (榎本)	—	—	日植防研究所		アグロ カネショウ(株)			
			3	1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02		
			3	3	<0.02	<0.02	0.05	0.05		
			3	7	<0.02	<0.02	0.03	0.03		
		大分県 肥料 植防協会 (宮川系早 生温州)	—	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	
			3	1	0.03	0.03	0.04	0.04		
			3	3	<0.02	<0.02	0.05	0.05		
			3	7	<0.02	<0.02	0.03	0.03		
		温州みかん (露地) (果皮) 平成 15 年度	25%水和剤 1000 倍 500L/10a 散布 25%水和剤 1000 倍 1000L/10a 散布	日植防 高知県 (榎本)	—	—	日植防研究所		アグロカネショウ(株)	
					3	1	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
					3	3	1.75	1.72	0.92	0.92
					3	7	1.04	1.04	0.80	0.78
大分県 肥料 植防協会 (宮川系早 生温州)	—			—	<0.04	<0.02	<0.04	<0.04	<0.04	
	3			1	3.63	3.54	2.55	2.47		
	3			3	2.34	2.33	1.80	1.80		
	3			7	1.87	1.82	1.08	1.07		

【夏みかん】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)				
					キノメチオナート [A]				
					最高値	平均値	最高値	平均値	
夏みかん (露地) (果実) 平成 15 年度 平成 16 年度	25%水和剤 1000 倍 600L/10a 散布 25%水和剤 1000 倍 429L/10a 散布	静岡県 柑橘試 (川野ナツ ダイダイ)	—	—	日植防研究所		アグロ カネショウ (株)		
			1	28	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	
			1	42	0.19	0.19	0.18	0.18	
			1	56	0.08	0.08	0.16	0.16	
		和歌山県 植防協 (川野系)	—	—	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.02
			1	28	0.05	0.05	0.05	0.05	
			1	42	0.24	0.24	0.24	0.23	
			1	42	0.11	0.11	0.17	0.16	
			1	56	0.06	0.06	0.03	0.03	

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【その他かんきつ】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
すだち (露地) (果実) 平成 15 年度	25%水和剤 1000 倍 500L/10a 散布	徳島県 植防協 (神山選抜 系)	—	—	アグロカネショウ(株)			
			1	28	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	42	0.03	0.03	<0.02	<0.02
			1	56	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
かぼす (露地) (果実) 平成 15 年度	25%水和剤 1000 倍 640L/10a 散布	大分県 植防協 (カボス大 分1号)	—	—	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	28	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	42	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
			1	56	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

【りんご】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
りんご (露地) (果実) 平成 9 年度	25%水和剤 1000 倍 400L/10a 散布	北海道 植防協会 (ふじ)	0	—	(財)日本食品分析センター		アグロカネショウ(株)	
			1	20	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	29	0.057	0.056	0.220	0.216
			1	39	0.018	0.018	0.181	0.180
		岐阜県 植防協会 (ふじ)	0	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
			1	20	0.036	0.035	0.094	0.092
			1	30	0.016	0.016	0.092	0.090
			1	40	<0.005	<0.005	0.018	0.018
りんご (露地) (果実) 平成 16 年度	25%水和剤 1000 倍 500L/10a 散布	秋田県 果試 (つがる)	—	—	(財)残留農薬研究所		アグロカネショウ(株)	
			1	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	19	0.01	0.01	0.03	0.03
		長野県 果試 (つがる)	1	26	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	21	0.05	0.05	0.03	0.03
りんご (露地) (果実) 平成 19 年度	25%水和剤 1000 倍 500L/10a 散布	青森県 植防協 (ふじ)	—	—	(財)残留農薬研究所		アグロカネショウ(株)	
			1	21	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
			1	28	0.08	0.08	0.08	0.08
		長野県 植防協 須坂 (ふじ)	1	35	0.04	0.04	0.02	0.02
			1	21	0.03	0.03	0.03	0.03
			1	28	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1	21	0.20	0.20	0.18	0.18			
1	28	0.21	0.20	0.28	0.27			
1	35	0.14	0.14	0.13	0.13			

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【いちご】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
いちご (施設) (果実) 昭和 46 年度	25%水和剤 90~3000/10a 散布	千葉県 暖地園試 (ダナー)	0 2 2 2 4 4 4	— 1 5 10 1 5 10	特殊農薬(株)研究所			
					< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
					0.31	0.31	0.31	0.31
					0.14	0.14	0.14	0.14
					0.08	0.08	0.08	0.08
					0.32	0.30	0.32	0.30
					0.21	0.21	0.21	0.21
		日植防研 (ダナー)	0 2 2 2 4 4 4	— 1 5 10 1 5 10	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
					0.34	0.34	0.34	0.34
					0.08	0.08	0.08	0.08
					0.03	0.03	0.03	0.03
					0.35	0.35	0.35	0.35
					0.13	0.13	0.13	0.13
					0.07	0.07	0.07	0.07
いちご (施設) (果実) 昭和 59 年度 昭和 60 年度	25%水和剤 ① 50 倍 50/10a 常温煙霧  ②2000 倍 2000/10a 散布	愛媛県 温泉郡 (宝交早 生)	① 0 3 3	— 1 3	愛媛県農試			
					< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008
					0.190	0.190	0.190	0.190
					0.180	0.180	0.180	0.180
					< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008
					0.210	0.200	0.210	0.200
		愛媛県 農 試 (宝交早 生)	① 0 3 3	— 1 3	< 0.007	< 0.007	< 0.007	< 0.007
					0.181	0.178	0.181	0.178
					0.160	0.158	0.160	0.158
					< 0.007	< 0.007	< 0.007	< 0.007
いちご (施設) (果実) 平成 4 年度	25%水和剤 3000 倍 1500/10a 散布	埼玉県 植防協 (女峰)	0 2 2	— 1 3	(財)残留農薬研究所		(株)化学分析コンサルタント	
					< 0.01	< 0.01	0.01	0.01
					0.12	0.12	0.14	0.13
		三重県 農技 センター (とよの か)	0 2 2	— 1 3	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
					0.08	0.08	0.11	0.10
					0.04	0.04	0.05	0.05
					< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
					0.08	0.08	0.11	0.10

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

【かき】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A]			
					最高値	平均値	最高値	平均値
かき (露地) (果実) 昭和48年度	25%水和剤 1000倍 2000/10a 散布	岐阜県 農試 (富有)	0	—	日本分析化学研究所		特殊農薬(株)研究所	
			3	45	< 0.006	< 0.006	< 0.005	< 0.005
			3	57	< 0.006	< 0.006	< 0.005	< 0.005
			5	27	< 0.006	< 0.006	0.006	0.006
			5	39	< 0.006	< 0.006	< 0.005	< 0.005
		福岡県 園試 (富有)	0	—	< 0.006	< 0.006	< 0.005	< 0.005
			3	26	< 0.006	< 0.006	0.012	0.010
			3	37	< 0.006	< 0.006	0.009	0.009
			5	11	0.021	0.019	0.036	0.036
			5	22	0.025	0.024	0.023	0.023

【その他のハーブ】

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は資料量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)					
					キノメチオナート [A]					
					最高値	平均値	最高値	平均値		
しそ (施設) (葉) 平成2年度	25%水和剤 3000倍 500/10a 散布	愛知県豊 橋市 (選抜種)	0	—	愛知県農総試					
			1	5	< 0.05	< 0.05				
			1	10	1.93	1.91				
			1	15	< 0.05	< 0.05				
			2	10	< 0.05	< 0.05				
			2	15	< 0.05	< 0.05				
			3	10	< 0.05	< 0.05				
			愛知県豊 川市 (選抜種)	0	—	< 0.05	< 0.05			
				1	5	0.60	0.55			
		1		10	< 0.05	< 0.05				
		1		15	< 0.05	< 0.05				
		2		10	< 0.05	< 0.05				
		2		15	< 0.05	< 0.05				
		みょうが (施設) (花蕾) 平成16年度	25%水和剤 3000倍 3000/10a 散布	高知県 農技セ (窪川町) (夏みょうが)	0	—	高知県農技術セ			
					3	1	< 0.04	< 0.04		
3	3				< 0.04	< 0.04				
3	7				< 0.04	< 0.04				
高知県 農技セ (南国市) (夏みょう が)	0			—	< 0.04	< 0.04				
	3			1	< 0.04	< 0.04				
	3			3	< 0.04	< 0.04				
	3			7	< 0.04	< 0.04				

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

参考資料 <代謝物残留試験結果>

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度	剤型 (有効成分量) 希釈倍数 又は使用量 使用方法	試料 調製 場所	散布 回数	経過 日数	分析結果(ppm)			
					キノメチオナート [A] 及び			
					最高値	平均値	最高値	平均値
みかん (果肉) 昭和 61 年度	25%水和剤 1000 倍 400~5000 散布	神奈川県 園試 根府川	0	—				
			3	7				
			3	14				
		愛媛県 果試	0	—				
			3	7				
			3	14				
みかん (果皮) 昭和 61 年度	25%水和剤 1000 倍 400~5000 散布	神奈川県 園試 根府川	0	—				
			3	7				
			3	14				
		愛媛県 果試	0	—				
			3	7				
			3	14				
かぼちゃ (露地) (果実) 昭和 63 年度	25%水和剤 2000 倍 2000/10a 散布	日植防研 高知 (えびす)	0	—				
			3	3				
			3	7				
		日植防研 宮崎 (えびす)	0	—				
			3	3				
			3	7				
すいか (施設) (果肉) 昭和 63 年度	25%水和剤 2000 倍 2000 散布	日植防研 (こだま)	0	—				
			5	1				
			5	3				
		静岡県 農試 (富士光)	0	—				
			5	1				
			5	3				



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

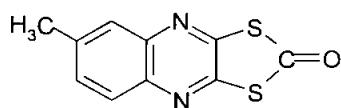
## 2. 土壌残留

### (1) 分析法の原理と操作概念

試料をアセトニトリル・クロロホルムで振とう抽出し、溶媒を減圧留去した後、塩化ナトリウム溶液を加えてヘキサンで抽出する。ヘキサンを脱水、減圧留去後、シリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、ガスクロマトグラフ (FPD) を用いて定量する。

### (2) 分析対象の化合物

名称	:	キノメチオナート
化学名	:	6-メチルキノキサリン-2,3-ジチオカーボネート
分子量	:	234.3
代謝経路図中での記号	:	[A]



本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネシヨウ株式会社にある。

(3) 残留試験結果

① 圃場試験

分析機関：日本特殊農薬製造（株）  
農薬研究所

推定半減期：火山灰土壌 約 4～6 日  
新開地土壌 約 4～10 日

試料調製及び採取場所 (特性等)	供試薬剤の濃度・量・回数	薬剤使用年月日	使用回数	経過日数	分析値 (ppm)	
					キノメチオナート [A]	
					最高値	平均値
山梨農試 岳麓分場 火山灰土壌 (砂壤土)	25%水和剤 1000倍 100～150L/10a 散布	—	0	—	< 0.003	< 0.003
		47/6/ 8	1	直後	0.038	0.030
		47/6/13	5	直後	0.053	0.053
		47/6/18	5	3	0.100	0.100
		47/6/23	5	7	0.014	0.011
		47/6/28	5	14	< 0.003	< 0.003
			5	20	< 0.003	< 0.003
			5	30	< 0.003	< 0.003
			5	61	0.006	0.006
		愛知農試 古層群 新開地土壌 (砂壤土)	25%水和剤 1000倍 100～150L/10a 散布	—	0	—
47/6/ 1	1			直後	0.041	0.039
47/6/ 6	5			直後	0.084	0.081
47/6/11	5			3	0.109	0.106
47/6/16	5			7	0.059	0.048
47/6/21	5			14	0.016	0.016
	5			20	0.026	0.026
	5			30	0.025	0.024
	5			61	0.026	0.025

本資料に記載された情報に係る権利及び内容の責任はアグロカネショウ株式会社にある。

② 容器内試験

分析機関：日本特殊農薬製造（株）  
農薬研究所

推定半減期：火山灰土壌 1日未満  
        鉍質土壌 約3日

試験調製及び採取場所 (特性等)	供試薬剤の 濃度・量・回数	薬剤使用 年月日	使用 回数	経過 日数	分析値 (ppm)	
					キノメチオナート [A]	
					最高値	平均値
山梨農試 岳麓分場 火山灰土壌 (砂壤土)	原体 7.5ppm (乾土重当り)  28±1℃	—	0	—	<0.02	<0.02
		47/9/11	1	0	6.79	6.71
			1	1	0.56	0.53
			1	2	0.39	0.37
			1	3	0.26	0.26*
			1	5	0.15	0.15
			1	10	0.16	0.16
愛知農試 鉍質土壌 (洪積・砂壤 土)	原体 7.5ppm (乾土重当り)  28±1℃	—	0	—	<0.02	<0.02
		47/9/ 6	1	0	6.55	6.52
			1	1	4.79	4.69
			1	2	4.99	4.62
			1	3	3.86	3.75
			1	5	2.53	2.51
			1	7	1.96	1.93
			1	10	1.04	0.85
	1	20	0.39	0.33		

※分析回数が1回